



2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年11月14日
東

上場会社名 セイコーグループ株式会社 上場取引所
コード番号 8050 URL <https://www.seiko.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高橋 修司
問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 南 正宣 (TEL) 03-3563-2111
四半期報告書提出予定日 2023年11月14日 配当支払開始予定日 2023年12月5日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	131,295	1.1	8,160	△7.8	9,247	△3.3	6,281	18.7
2023年3月期第2四半期	129,921	17.7	8,847	156.2	9,567	168.7	5,292	343.5

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 16,062百万円(22.1%) 2023年3月期第2四半期13,152百万円(136.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2024年3月期第2四半期	円 銭 152.13	円 銭 —
2023年3月期第2四半期	128.29	128.29

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	373,307	146,268	38.6
2023年3月期	355,915	131,748	36.5

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 144,028百万円 2023年3月期 129,792百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	37.50	—	37.50	75.00
2024年3月期	—	37.50	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	37.50	75.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	268,000	2.9	12,000	6.8	12,000	7.5	8,000	59.1	193.72

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社 (社名) — 、除外 一社 (社名) —

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2024年3月期2Q	41,404,261株	2023年3月期	41,404,261株
② 期末自己株式数	2024年3月期2Q	99,683株	2023年3月期	132,337株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2024年3月期2Q	41,288,186株	2023年3月期2Q	41,252,302株

(注) 「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」の算定上控除する自己株式数には、株式給付信託(BBT)が保有する当社株式を含めております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、【添付資料】4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想等の将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

【添付資料】

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 3
(3) 連結業績予想等の将来予測情報に関する説明	P. 4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 10
(継続企業の前提に関する注記)	P. 10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 10
(セグメント情報)	P. 11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2023年4月1日～9月30日)における世界経済は、高インフレが継続する中で、欧米諸国を中心とした金融引き締めが続いており、欧州経済の景気減速は顕在化してきています。また、中国経済は不動産市場の調整が続いており、経済の低迷が長期化する懸念があります。

わが国の経済は、インフレ傾向のなかでも個人消費は回復基調にあり、またインバウンド需要も回復基調を維持しております。

(単位：百万円)

	2022年3月期 第2四半期 累計期間(a)	2023年3月期 第2四半期 累計期間(b)	2024年3月期 第2四半期 累計期間①	前々年同期 増減 ①－(a)	前年同期 増減 ①－(b)
売上高	110,395	129,921	131,295	20,899	1,373
営業利益	3,453	8,847	8,160	4,706	△687
%	3.1%	6.8%	6.2%	3.1pt	△0.6pt
経常利益	3,561	9,567	9,247	5,686	△320
%	3.2%	7.4%	7.0%	3.8pt	△0.4pt
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,193	5,292	6,281	5,088	989
%	1.1%	4.1%	4.8%	3.7pt	0.7pt
換算レート					
USD(円)	109.8	134.0	141.1	31.3	7.1
EUR(円)	130.9	138.8	153.5	22.6	14.7

このような中、エモーショナルバリューソリューション事業では、国内市場向けのウオッチ事業、和光事業が、個人消費の回復やインバウンド需要を背景に大きく売上高を伸ばし、海外市場向けのウオッチ事業も欧州、アジア地域で伸長して、売上高は前年同期を上回りました。デバイスソリューション事業は、中国経済停滞の長期化や電子デバイス市場での在庫調整等、昨年度第3四半期から悪化した事業環境の回復が見込まれない中、売上高は前年同期を大きく下回りました。システムソリューション事業は多角化やストックビジネス拡大への取組みが引き続き奏功して、前年同期を上回る売上高となりました。その結果、当社グループの当第2四半期連結累計期間の売上高は、1,312億円(前年同期比1.1%増)となりました。

連結全体の国内売上高は672億円(同5.9%増)、海外売上高は640億円(同3.6%減)となり、海外売上高割合は48.8%でした。

当第2四半期連結累計期間の広告宣伝販促費は前年同期に対して約10%増加し、販売費及び一般管理費は前年同期から35億円の増加となりました。営業利益は、デバイスソリューション事業の減速により前年同期から6億円悪化し81億円(同7.8%減)となりました。営業外収支は受取利息や受取配当金の増加等により前年同期から改善したものの、経常利益は前年同期を3億円下回る92億円(同3.3%減)となりました。特別損益は、当社サーバに対する不正アクセスへの対応の為、特別損失として情報セキュリティ対策費2億円を計上しましたが、親会社株主に帰属する四半期純利益は、国内事業会社の収益改善に伴い法人税等調整額が減少したことなどにより、前年同期から9億円増加し62億円(同18.7%増)となりました。

なお、当第2四半期連結累計期間の平均為替レートは1米ドル141.1円、1ユーロ153.5円でした。

セグメント別の概況は、以下のとおりです。

① エモーショナルバリューソリューション事業（EVS事業）

EVS事業の売上高は前年同期比68億円増加の899億円（前年同期比8.2%増）となりました。

国内のウォッチは、回復基調となった個人消費やインバウンド需要を背景に「グランドセイコー」、「セイコープロスペックス」などのグローバルブランドが好調に推移し、前年同期から売上高を伸ばしました。また海外でも、グローバルブランドが米国、欧州、アジアで「セイコープレザージュ」、「セイコー5スポーツ」などを中心に伸長し、中国の回復が遅れているものの、売上高は前年同期から増加しました。ウォッチムーブメントの外販ビジネスにつきましては、中国経済の低迷を受け、売上高は前年同期から減少しました。

和光事業の売上高は好調なインバウンド需要を背景に前年同期と比べ大きく伸長しましたが、クロック事業は海外向けで中国経済の低迷を受け、売上高は前年同期から減少しました。

営業利益は前年同期から26億円増加し95億円（同37.4%増）となりました。

② デバイスソリューション事業（DS事業）

DS事業は売上高276億円（前年同期比19.6%減）、営業利益2億円（同93.9%減）となりました。

中国経済停滞長期化や電子デバイス市場での在庫調整が継続している影響により、サーマルプリンタを始め、水晶、半導体製造装置向けの高機能金属、精密部品等が低迷し、前年同期から大幅な減収減益となりました。

③ システムソリューション事業（SS事業）

SS事業の売上高189億円（前年同期比4.9%増）、営業利益は22億円（同10.9%増）となりました。

デジタル化や法改正を捉えた電子契約関連のビジネスが伸長し、性能管理・セキュリティ関連ビジネスなどデジタルインフラを支える事業が拡大したことなどにより、30四半期連続で対前年同四半期比増収増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の総資産は3,733億円となり、前年度末に比べて、為替による影響も含め173億円の増加となりました。流動資産では、棚卸資産が69億円増加したことなどにより、流動資産合計は前年度末より53億円増加し1,787億円となりました。固定資産では、有形固定資産が53億円、投資その他の資産が65億円増加したことから、固定資産合計は前年度末と比べ120億円増加の1,945億円となりました。

(負債)

負債につきましては、短期借入金が49億円減少、長期借入金が27億円減少し、借入金合計は1,245億円となりました。未払金が19億円減少したほか、支払手形及び買掛金が41億円、電子記録債務が30億円、繰延税金負債が10億円増加したことなどにより、負債合計は前年度末と比べ、為替による影響も含め28億円増加の2,270億円となりました。

(純資産)

純資産につきましては、株主資本が47億円増加し、また、為替換算調整勘定が57億円増加したことなどから、合計でも前年度末と比べ145億円増加の1,462億円となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物の期末残高は359億円となり、前年度末と比べて2億円の減少となりました。

これは、主として以下の要因によるものです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益が91億円となり、減価償却費63億円を加え、棚卸資産の増加△32億円および未払金の減少△19億円などの調整を行った結果、前年同期から145億円増加の177億円のプラスとなりました（前年同期は32億円のプラス）。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得△64億円などにより、78億円のマイナスとなりました（前年同期は81億円のマイナス）。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、長短借入金の返済や配当金の支払いなどにより118億円のマイナスとなりました（前年同期は71億円のプラス）。

(3) 連結業績予想等の将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間では、EVS事業が前年同期と比べ増収増益となる一方で、DS事業は減収減益となりました。第3四半期以降につきましては、EVS事業が引き続き順調に推移する見通しであるため、通期連結業績予想についての修正は行わないものの、通期セグメント別業績予想については下記のとおり修正いたします。

【通期連結業績予想】

売上高	2,680億円	(前年比	2.9%増)
営業利益	120億円	(前年比	6.8%増)
経常利益	120億円	(前年比	7.5%増)
親会社株主に帰属する当期純利益	80億円	(前年比	59.1%増)
1株当たり当期純利益	193.72円		

【通期セグメント別業績予想】

単位：億円

	売上高		営業利益	
	今回予想	前回	今回予想	前回
エモーショナルバリューソリューション事業	1,800	1,770	150	140
デバイスソリューション事業	600	630	23	36
システムソリューション事業	390	390	50	50
事業別合計	2,790	2,790	223	226
その他	10	10	1	1
連結合計	2,680	2,680	120	120

(注) 連結合計はセグメント間の内部売上高消去等、連結調整後の数値です。

※ 上記の予想は、当社が現在入手している情報および合理的と判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	36,324	36,046
受取手形、売掛金及び契約資産	38,647	40,666
棚卸資産	83,776	90,688
未収入金	6,577	3,587
その他	9,381	9,275
貸倒引当金	△1,297	△1,476
流動資産合計	173,410	178,787
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	79,280	81,937
機械装置及び運搬具	86,117	90,956
工具、器具及び備品	39,233	41,335
その他	12,699	15,837
減価償却累計額	△163,232	△170,713
土地	54,182	54,404
建設仮勘定	2,867	2,762
有形固定資産合計	111,149	116,520
無形固定資産		
のれん	6,901	6,302
その他	8,620	9,290
無形固定資産合計	15,522	15,593
投資その他の資産		
投資有価証券	45,490	51,377
繰延税金資産	1,923	2,054
その他	8,572	9,129
貸倒引当金	△153	△155
投資その他の資産合計	55,833	62,406
固定資産合計	182,505	194,520
資産合計	355,915	373,307

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	18,790	22,950
電子記録債務	6,212	9,234
短期借入金	72,598	67,643
1年内償還予定の社債	300	-
1年内返済予定の長期借入金	22,117	22,115
未払金	11,344	9,356
未払法人税等	1,793	3,787
賞与引当金	4,879	4,992
その他の引当金	1,452	1,290
資産除去債務	9	22
その他	22,659	22,926
流動負債合計	162,157	164,320
固定負債		
長期借入金	37,525	34,802
繰延税金負債	4,285	5,307
再評価に係る繰延税金負債	3,614	3,614
その他の引当金	742	732
退職給付に係る負債	6,894	6,849
資産除去債務	1,079	1,075
その他	7,867	10,335
固定負債合計	62,009	62,718
負債合計	224,166	227,039
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,000	10,000
資本剰余金	7,245	7,245
利益剰余金	81,520	86,246
自己株式	△248	△197
株主資本合計	98,517	103,294
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	11,464	15,341
繰延ヘッジ損益	△9	△36
土地再評価差額金	8,190	8,190
為替換算調整勘定	10,638	16,370
退職給付に係る調整累計額	992	868
その他の包括利益累計額合計	31,275	40,733
非支配株主持分	1,956	2,240
純資産合計	131,748	146,268
負債純資産合計	355,915	373,307

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	129,921	131,295
売上原価	74,267	72,774
売上総利益	55,654	58,520
販売費及び一般管理費	46,806	50,359
営業利益	8,847	8,160
営業外収益		
受取利息	60	180
受取配当金	390	507
持分法による投資利益	604	626
為替差益	646	607
その他	329	485
営業外収益合計	2,031	2,408
営業外費用		
支払利息	515	629
その他	795	692
営業外費用合計	1,311	1,321
経常利益	9,567	9,247
特別利益		
事業構造改善引当金戻入額	-	96
特別利益合計	-	96
特別損失		
情報セキュリティ対策費	-	216
感染症拡大に伴う損失	90	-
事業構造改善費用	26	-
特別損失合計	117	216
税金等調整前四半期純利益	9,450	9,128
法人税等	3,995	2,614
四半期純利益	5,455	6,513
非支配株主に帰属する四半期純利益	162	232
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,292	6,281

四半期連結包括利益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	5,455	6,513
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,140	3,867
繰延ヘッジ損益	△345	△26
為替換算調整勘定	5,979	6,129
退職給付に係る調整額	△13	△156
持分法適用会社に対する持分相当額	936	△266
その他の包括利益合計	7,697	9,548
四半期包括利益	13,152	16,062
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	12,922	15,739
非支配株主に係る四半期包括利益	229	322

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	9,450	9,128
減価償却費	6,149	6,393
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	46	104
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△94	△85
受取利息及び受取配当金	△451	△688
支払利息	515	629
為替差損益 (△は益)	△236	△163
持分法による投資損益 (△は益)	△604	△626
固定資産除却損	113	184
売上債権の増減額 (△は増加)	11	△995
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△8,620	△3,205
未収入金の増減額 (△は増加)	1,117	3,072
仕入債務の増減額 (△は減少)	947	7,062
未払金の増減額 (△は減少)	△3,461	△1,906
その他	64	220
小計	4,949	19,122
利息及び配当金の受取額	451	688
持分法適用会社からの配当金の受取額	32	41
利息の支払額	△505	△628
法人税等の支払額	△1,652	△1,446
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,274	17,777
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△6,458	△6,473
有形固定資産の売却による収入	757	24
投資有価証券の取得による支出	△9	△0
投資有価証券の売却による収入	18	33
貸付けによる支出	△123	△159
貸付金の回収による収入	210	189
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△1,428	-
その他	△1,085	△1,437
投資活動によるキャッシュ・フロー	△8,117	△7,823
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	665,067	743,903
短期借入金の返済による支出	△654,014	△749,897
長期借入れによる収入	10,000	9,391
長期借入金の返済による支出	△11,923	△12,124
配当金の支払額	△1,033	△1,550
その他	△956	△1,525
財務活動によるキャッシュ・フロー	7,139	△11,802
現金及び現金同等物に係る換算差額	2,862	1,572
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	5,158	△275
現金及び現金同等物の期首残高	30,738	36,209
現金及び現金同等物の四半期末残高	35,897	35,933

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	エモーシ onalバ リ ュー ソ リ ュー シ ョ ン 事 業	デ バ イ ス ソ リ ュー シ ョ ン 事 業	シ ス テ ム ソ リ ュー シ ョ ン 事 業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	81,673	31,276	16,572	129,523	188	129,711	209	129,921
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,466	3,063	1,451	5,982	350	6,332	△6,332	—
計	83,140	34,340	18,024	135,505	538	136,044	△6,122	129,921
セグメント利益	6,957	4,133	2,022	13,112	98	13,211	△4,363	8,847

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、シェアードサービス事業等を含んでおります。

2. 調整額は以下のとおりであります。

(1) 外部顧客への売上高の調整額209百万円は、事業セグメントに帰属しない本社部門におけるロイヤリティー収入であります。

(2) セグメント利益の調整額△4,363百万円には、のれんの償却額△283百万円、セグメント間取引消去等△265百万円、各事業セグメントに配分していない全社費用△3,814百万円が含まれております。全社費用の主なものは、事業セグメントに帰属しない本社部門に係る費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	エモーシ onalバ リ ュー ソ リ ュー シ ョ ン 事 業	デ バ イ ス ソ リ ュー シ ョ ン 事 業	シ ス テ ム ソ リ ュー シ ョ ン 事 業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	88,562	25,076	17,235	130,874	200	131,074	220	131,295
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,414	2,538	1,674	5,627	346	5,974	△5,974	—
計	89,976	27,614	18,910	136,502	546	137,049	△5,753	131,295
セグメント利益	9,558	250	2,242	12,051	114	12,165	△4,005	8,160

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、シェアードサービス事業等を含んでおります。

2. 調整額は以下のとおりであります。

(1) 外部顧客への売上高の調整額220百万円は、事業セグメントに帰属しない本社部門におけるロイヤリティー収入であります。

(2) セグメント利益の調整額△4,005百万円には、のれんの償却額△283百万円、セグメント間取引消去等△110百万円、各事業セグメントに配分していない全社費用△3,611百万円が含まれております。全社費用の主なものは、事業セグメントに帰属しない本社部門に係る費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。